

2015年3月11日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第11号

リオ市内で抗議行動が連続して実施

- 1 3月11日(水)午後4時30分頃、セントロ地区のカンデラリア(Candelaria)広場において、約20名のデモ隊が集結し、ルセフ大統領とペトロbras社に対する抗議デモ行進を行っています。デモ隊には約200名の軍警察官が警備に当たっています。
- 2 3月13日(金)午後3時頃から、シネランジア(CINELANDIA)広場(※リオ市議会会堂前)において、リオ市内労働組合による抗議デモへの参加がインターネット上で呼びかけられています。
<http://csbbrasil.org.br/centrais-e-movimentos-sociais-organizam-manifestacao-no-dia-13-de-marco/>
- 3 3月15日(日)、午前9時頃から、コパカバーナ海岸(ポスト5付近)において、ルセフ大統領のリコールを求める大規模な抗議デモがインターネット上で呼びかけられています。
抗議デモの主体はブラジル各地の市民団体で、同日、ルセフ大統領のリコールを求めてブラジル全国で同時多発的に抗議デモが開催される予定です(10日現在、32か所で予定)。
軍警察によれば、デモ申請は既に受理しているとのことで、平和的なデモになるとの見方を示しています。
4. 抗議活動発生時には、以下の点に注意してください。
 - (1) 抗議活動に遭遇したら、事態が沈静化するまで安全な屋内に避難する。
 - (2) デモが始まりそうな予兆(急に周りに人が集まり始めた、プラカードを持っている人を多数見かけた等)を感じたら、直ぐにその場を離れる。
 - (3) 抗議活動の後半時間帯が特に危険。
過去に行われた抗議活動では、平和的に行われていたものが、解散間際になって(一部過激なグループに扇動され)破壊行為に発展する事案が多く見られます。抗議が収まりそうだからといって、安易に現場に近づかないようにしましょう。